



株式会社環境総合研究所
Environmental Research Institute Inc.

オーストリア・モニタリングシステム社製
焼却炉・ガス化溶融炉排ガス中
ダイオキシン連続モニタリングシステム

開発者・トーマス・スタイナー社長
来日特別セミナー開催のご案内

ゴミを燃やすとダイオキシン類が排ガスから出ることが分かったのは、1977年のオランダですが、日本は依然として世界一の廃棄物焼却大国となっています。昨年12月より、日本でも排ガスが国際基準の0.1ng-TEQ/m³が適用されましたが、24時間×365日=8760時間中わずか4時間の排ガス中ダイオキシン類のサンプリングによる分析で基準以下であれば、稼働を継続できることになっています。

環境問題の本場、EUでは、残された一般廃棄物、産業廃棄物などの焼却施設排ガスに含まれる排ガス中のダイオキシン類を連続的に2週間から1ヶ月単位でサンプリングし、1年を通じ排ガス濃度をモニタリングする方法が一般的となりつつあります。

その排ガス中ダイオキシン類を連続サンプリングする装置を研究、開発したオーストリア・ウィーンに本社があるモニタリングシステム社のトーマス・スタイナー代表が12月上旬来日することになりました。

株式会社環境総合研究所では、スタイナー代表の来日を受け、12月上旬に東京と福岡で特別セミナーを開催いたします。EUの開発責任者からEUにおける実情またDMS (Dioxin Monitoring System) の技術的詳細、適用事例などについて直接聞くまたとないチャンスとなります。

万障お繰り合わせの上、来日特別セミナーにご来場頂くようお願い申し上げます。

東京セミナー

共催 在日オーストリア大使館、環境総合研究所
日時 2003年12月12日(金)午後1:30~5:00
場所 東京都千代田区日比谷プレスセンタービル 6F(フォーリンプレスセンター会議室)
開催プログラム

ご挨拶 Michael Otter (オーストリア大使館副商務参事官)
背景説明 青山 貞一 (環境総合研究所所長、武蔵工業大学大学院教授)
講演 トーマス・スタイナー(モニタリング・システム社代表、オーストリア・ウィーン)
質疑応答
通訳 池田こみち(環境総合研究所副所長、関東学院大学経済学部講師)

参加申し込み先 オーストリア大使館商務部 FAX 03-3403-3407

福岡セミナー

主催 在日オーストリア大使館、環境総合研究所
日時 2003年12月13日(土)午後1:30~5:00(予定)
場所 福岡県宗像市 宗像ユリックス 視聴覚室
開催プログラム

ご挨拶及び背景説明 池田こみち(環境総合研究所副所長)
講演 トーマス・スタイナー(モニタリング・システム社代表、オーストリア・ウィーン)
質疑応答
通訳 池田こみち(環境総合研究所副所長、関東学院大学経済学部講師)

参加申し込み先 環境総合研究所 FAX 03-5759-1890

参加費 無料(参加を希望される方はそれぞれの会場ごとに氏名、住所、所属、電話及びFAX番号、メールアドレスをFAXでご連絡下さい)

連絡先 株式会社 環境総合研究所 DMSセミナー係(池田こみち、鷹取敦、斉藤真実)

〒141-0021 東京都品川区上大崎 4-5-26-4-1107 03-5759-1690(電話) 03-5759-1890(FAX)、
メール ikeda@eritokyo.jp takatori@eritokyo.jp saito@eritokyo.jp

今後の詳細は環境総合研究所のホームページでご案内致します。 <http://eritokyo.jp/>